

チーバくんグローバルパートナーズ意見交換会

日 時：令和5年12月8日

形 式：Zoomミーティング

出席者：チーバくんグローバルパートナーズ8名、千葉県国際交流センター2名、
千葉県6名

意見交換会 次第

1. 課長挨拶
2. 自己紹介
3. 意見交換会 「千葉県で働くこと」
 - (1) 今の仕事に就いたきっかけ や 千葉県に住み始めた理由
 - (2) 仕事を探すときに大変だったこと、あればよかったと思うサポート
 - (3) 仕事を選ぶときに、大切にすることは何ですか
 - (4) 職場で あったらいい と思うサポートは何ですか
 - (5) 日本（千葉県）の大学に決めた理由
 - (6) これからも今の仕事を続けて、千葉県に住みたいと思いますか。
4. その他

意見交換会 意見概要

(1) 今の仕事に就いたきっかけ や 千葉県に住み始めた理由

- ・ 出産を機に、勤務していた東京の会社を辞め、子育てと両立できる距離にある県内大学の留学生支援の仕事に就いた。
- ・ 大学で外国人材を専攻し、その知識を活かし現在の仕事に繋がった。
- ・ 千葉県に住む理由は、①家賃や生活費が安い。②国際課や千葉県国際交流センターと関わる中で、外国人を歓迎している県という印象が強いと感じたから。③静かで、東京より娯楽施設が少ないため、節約できるため。
- ・ 千葉県を選んだ理由は、“子育てしやすい環境づくり”に力を入れている街であると感じたから。以前住んでいた場所は、歩道が少なく、子供を遊ばせる環境として適していなかった。現在住んでいる場所は、駅周辺は開発されているが、家の周りは田んぼに囲まれていて、自然が豊かで朝は鳥の声だけがする。また、都会へのアクセスもよい。近所との交流もある。
- ・ 勤務先を選んだ理由は、通勤の便がよかったため。また、在宅勤務対応等、フレキシブルな環境である企業だから。
- ・ 成田空港を何度も利用し、空港周辺と東京の景色の違いに興味を抱いた。東京勤務を継続しながら、日帰りできる田舎だったため、移住することを決めた。もっと田舎の魅力を伝えたい。
- ・ 大学のサークル活動を通じ、様々なイベントに参加でき、市民とのつながりを感じれる。

(2) 仕事を探すときに大変だったこと、あればよかったと思うサポート

- ・就労ビザがないと、雇用してくれない企業が多い。
- ・4月から年度が始まる日本では、その時期を逃すと、求人数が減ってしまう。
- ・年齢制限（主に39歳まで）があること。
- ・3年以上継続して働かないと正社員になれない。
- ・日本語能力が、すごく影響すること。
- ・日本特有のマナー
- ・ジョブフェア
- ・日本語力で、仕事の能力を判断されてしまう。日本語力に伴わず、能力を発揮できる環境になってほしい。
- ・外国人でも、役職に就けるようになるといい。
- ・大学で学んだ留学生の50パーセントは、日本で就職したいと考えているにも係わらず、大学のサポートセンターでは、留学生向けのものが少ない。
- ・ビザの関係で、職種が限られてしまう。
例えば、「福祉」を専攻し、4年間学んだ留学生でも、国家資格がないと高齢者施設で働けない。技人国のビザでは、高齢者施設は対象外となり、働けない。
- ・事務職に就きたいと考える学生が多いが、ビジネスレベル日本語がないと、採用されにくい。
- ・大学生に限らず、留学生が就職しやすい環境が整うといいと思う。
- ・“外国人ならではの強みを活かす”という見方で活動すればいいと思う。
- ・就労先は、日本企業に限る必要はないと思う。外資系企業も含めて就活し、決して悲観的に考えるべきではないと思う。日本語力がなくても、英語でも対応できる企業はある。
- ・これから日本で学んで、その後働くことを目指す人には、日本語能力も確かに大事が、高い学歴にチャレンジし、博士・修士の取得を目指してほしいと思う。
- ・在留資格対策として、日本にある企業の中では、海外と提携して、来日する前に日本語能力をあらかじめ高め、その後日本の学校で学ぶという動きがある。

(3) 仕事を選ぶときに、大切にすることは何ですか

- ・生計を立てる。
- ・やりがいを感じる。自分にしかできない仕事をしたい。
- ・信頼度の高い企業であること。
- ・母国語を活用でき、将来に活かせるキャリアであることを重要視している。
- ・給料
- ・家からの距離
- ・皆に同じチャンスが与えられ、自分の意見を言えるフラット環境。本音や建前、空気を読むことを必要としないこと。
- ・柔軟性があること。

- ・自分の学んできた知識や経験を活かせる仕事。
- ・子供を送り迎えができる場所であること。
- ・日本では、外国人や女性の間管理職は少ない。更に、中間管理職に就けるまで10年はかかる。しかし、それら風土を理解し、長いスパンで考え、優秀な日本人と共に、上を目指し働いていった方がよい。
- ・「日本語能力」、「学歴」、「自分の長所を見つける」等、日本で仕事に就くために必要なことを聴けた。(留学生)
- ・仕事を選ぶ時に重視することは、資格習得支援。資格を取得すれば、進路の選択肢が広がると思うから。
- ・自分の経験から、留学生へ送るアドバイスとして、社会活動やサークル、イベント等にたくさん参加しておいた方がよいということ。
- ・「人とつながること」が、大切。そして、「書く力」を向上させることも、日本で仕事する上で大切。公文書等は、とても難しいため。

(4) 職場で あったらいい と思うサポートは何ですか

- ・「やさしい日本語」を、職場でも普及してほしい。
ビジネスでは、丁寧な言葉、“わかりかねる” “等のねじり言葉がよく使われるが、わかりにくい。様々な書類には提出期限がある中、よりスピーディーに仕事を進めるためには、丁寧よりわかりやすい言葉を使用してほしい。
- ・仕事の中で、わかりやすい言葉を使ってほしい。マニュアルがあるが、見ても理解できない。先輩に教えてもらったことを、メモを取ろうとしても、間に合わないので、わかりやすいマニュアルがあれば役立つ。
- ・ビザ申請のサポートがあれば良いと思う。日本語学校や大学でもサポートはあるが、学生ビザから就労ビザへの切替は、提出書類も多く複雑なので、職場でもサポートしてほしい。

(5) 日本（千葉県）の大学に決めた理由

- ・両親が、災害に関する仕事をしているため、危機管理学部のある大学を選んだ。大学のサークル活動を通じ、社会とのつながりができ、良い経験もできた。今後も、社会福祉を学びたい。
- ・東京から千葉県に移り住んだが、1番に感じたことは、静かであること。東京の人は、歩くスピードや話すスピードが早い。千葉県には、優しくあたたかい人が多く、住みやすいと感じている。
- ・選ぶ時に気になる点は、①奨学金があること。アルバイト減らすことができ、社会活動等に参加できる時間ができる。②文化交流を積極的に行っている学校。③在留資格に関する支援が充実しているところ ④グローバルに興味のある学生が多いところ
- ・自分が学生だった頃、日本の学生は、外国人との交流に積極的ではなかった。日本人とコミュニケーションをとる機会が少なく残念に思った。声をかけにくい雰囲気だった。

- ・東京から千葉に移住し感じたことは、過ごしやすい気温、海や海鮮物が豊富、雰囲気がゆったりしている等。
- ・大学の交換留学生として千葉県に来た。千葉県については、人があたたかい、海がある、子育てしやすいと思う。

(6) これからも今の仕事を続けて、千葉に住みたいと思いますか。

- ・千葉県で住み続けて、埼玉県・茨城県のように、ベトナムフェスティバルが開催したい。
- ・住み続けたいが、通勤時間が長いので、今後子育てとの両立するために、勤務先を代えるか、引っ越すかを判断しなくてはならない。
- ・成人する前に日本に来たので、“地元”と思える場所がない。自分の子供には“戻る場所”を作ってあげたいと思う。それが千葉県である。
- ・パートナーズ等の活動に参加できて楽しいし、物価も安いので、千葉県が好きではあるが、将来住む場所を決める時は、より福祉や子育て支援等が充実しているところを吟味し選みたい。
- ・第2の故郷として、最後まで住み続けたい。
- ・風景がきれいで、灯台や海等、夕方の美しい景色に癒される。千葉県で過ごせたことをとても感謝している。

その他

- ・「令和6年度チーバくんグローバルパートナーズ」の案内
- ・「災害時外国人サポーター養成講座」参加者の募集について
- ・多文化共生出前講座について紹介（千葉県国際交流センター）

第2回 チーバくんグローバルパートナーズ 意見交換会 光景

